



仙台での年次大会開催に向けて

松浦 祐司[†]

Welcome to Sendai for The 32nd Annual Meeting

Yuji MATSUURA[†]

いろいろとご心配をおかけしましたが私たちはもう大丈夫です。仙台の街もすっかり元通りになり、活気を取り戻しました。

「M8巨大地震発生確率80%」と言われても残りの20%につき、期待をしていました。しかしそれは緊急地震速報の3秒後に突然に、椅子に座っていることができないほどの揺れ。自然と机の下へ。

幸いなことに自分の周囲ではけが人もなく皆無事でしたが、実験室は半壊滅。(あの重心の高いガスボンベはどう固定しても倒れるものと思った方がいいです。床や壁に打ち込んだアンカーは全て根こそぎ抜けてしまいました。)きれいに棚に並べた本が、余震ですべて落ちてしまったのを見たときはしばらく途方にくれたものの、スタッフたちと連日、日暮れまで(停電なので)復旧作業に励み、学生たちが長い春休みから戻り始めた4月半ばには地震前よりも良い環境で実験を再開することができました。

東北地区の大学や研究機関、企業で大きな被害を受けた所も数多くありますが、皆、ほぼ完全に復旧し、震災による遅れを取り戻すべく努力されています。仙台での大会を本当に開催できるのかというお問い合わせを何通か頂きましたが、問題ありません。こんな時だからこそ、ぜひ仙台で開催させていただきたいとお答えしました。多少準備が遅れてはいますが実行委員が一丸となって準備に取り組み、大会を成功させる所存です。

三陸の海の幸や松島の牡蠣の復活が大会開催まで間に合うかどうかは微妙ですが、それ以外にも牛タン、笹かまをはじめ美味しいものも数多くありますし、被災した酒蔵の中で生き残った地酒などもあります。来年1月末にはすっかり元気になった東北までお越しください。お待ちしております。

年次大会インフォメーション

日 時：2012年1月30日(月)～2012年2月1日(水)

会 場：TKP 仙台カンファレンスセンター

〒980-0013

宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-3

[†]東北大学 大学院医工学研究科 (〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-05)

[†]Graduate School of Biomedical Engineering, Tohoku University, 6-6-05 Aoba, Sendai, Miyagi 980-8579